

ゾーン・エリア名	ねらい	想定される展示内容	業務の区分※1		委託料に含まれる範囲				備考
			出展者募集	出展者対応	高層小間標準設備	その他備品等	ゲート等装飾	輸送	
ものづくりゾーン	・多摩地域の中小企業の特徴である高いものづくり技術を発信	・金属加工・成形 ・設計・開発 ・測定・制御 等	受託者	受託者	●	※2	●	—	・60小間程度のスペースを確保すること。
GX・DXゾーン	・世界の潮流であるGX・DXを推進する先進的な取組を紹介	・再エネ・脱炭素化・SX ・ロボット・AI・IoT ・業務効率化・最適化 等	受託者	受託者	●	※2	●	—	・40小間程度のスペースを確保すること。
くらしゾーン	・住民や学生に親しみやすい製品・サービスを表示	・健康・医療 ・安全・安心 ・子ども・教育 ・地域・観光 等	受託者	受託者	●	※2	●	—	・30小間程度のスペースを確保すること。
リーディングプロジェクトエリア	・リーディングプロジェクトでの取組事例を紹介 ・多摩イノベーションコミュニティの活動内容を紹介	・リーディングプロジェクトの取組事例等	実行委員会	受託者	●	●	●	●	・リーディングプロジェクト企業約20社が製品・サービス等を表示・PRできるエリアを設置すること。 ・エリア全体の造作やレイアウト、小間の仕様等は、多摩イノベーションエコシステム促進事業受託事業者と調整の上、設計・施工すること。
特別企画エリア	・参加者が展示や体験を通じてイノベーション創出を体感できる場を提供 ・来場者ニーズが高い体験型の企画（複数設置、金曜・土曜別々の企画も可）	（これまでの例） ・体験型ロボット ・次世代型モビリティ 等	受託者	受託者	●	●	●	●	・来場者の興味・関心の高いテーマを設定し、テーマに合致する企業の製品・サービスの体験展示を行うこと。

※1 出展者募集を実行委員会が行う場合でも、各種郵送物の送付等は受託者が行うものとする。
 ※2 原則として各出展者の実費負担とするが、電気（追加）、電話及び給排水設備等の利用調整と料金徴収は委託内容に含まれる。

ステージイベント

イベント名	内容	業務の区分		委託料に含まれる範囲			備考
		登壇者選定	登壇者手配	登壇者謝金	会場設営	運営費 <small>（来場者招待は別枠）</small>	
特別講演・トークイベント	新たな事業分野への参入や他社との連携を考えるきっかけとなるプログラム (例) ・「BtoB から BtoC への 挑戦」 ・「中小企業とスタートアップの協業」 ・「〇〇×イノベーション」	受託者	受託者	●	●	●	・展示会場内に80人程度が聴講可能なステージを設置し、講演等の各種ステージイベントを運営すること。 ・ステージには、資料等を投影するモニターを設置すること。
リーディングプロジェクト成果発表ステージ	・製品・サービスの社会実装に向けて多摩地域で実証等を行う各プロジェクトの代表者がプレゼン形式で成果を発表（10社程度）	—	—	—	●	※3	・多摩イノベーションエコシステム促進事業受託事業者と調整の上、企画・設計すること。

※3 当日のステージ進行は多摩イノベーションエコシステム促進事業事務局が行うものとする。

その他

イベント名	内容	業務の区分		委託料に含まれる範囲			備考
		講師選定	講師手配	講師謝金	会場設営	運営費 <small>（来場者招待は別枠）</small>	
セミナー・ワークショップ会場	・ビジネス向けのセミナーや、一般来場者向けのものづくりワークショップ等を実施	受託者	受託者	●	●	●	・会場は、原則として東京たま未来メッセ3F会議室とすること。
交流カフェ	・来場者や出展者が自由に交流できるカフェスペースを展示会場内に設置	—	—	—	●	●	・単なる休憩スペースとならないよう、交流を促すための仕掛けを用意すること。
特別商談会	・出展者と招聘バイヤーとの特別商談会を実施	—	—	—	●	●	・付属の個室やパーティションなどを使用し、適宜以下の使用目的別の部屋を設置すること。 (ア) 商談ブース 製作数は15ブース程度とすること。（企業の参加状況により変動する。） パーティションの間仕切りによりブースごとの境界を明確にすること。 ブースごとにテーブル・椅子を設置すること。 (イ) 受注額企業向け参加者待合スペース (ウ) 発注額企業向け控室 (エ) 受注・発注参加者受付 (オ) 案内サイン
受付デスク	・出展者、招聘企業・団体、セミナー講師等のVIP及び来場者等の受付・案内業務	—	—	—	●	●	・入場ゲート付近に受付デスク等を設置すること。 ・来場受付業務はIoT技術の活用をする等、スムーズに行えるよう工夫すること。
マッチングコンシェルジュデスク	・来場者や出展者のニーズに合った企業等を案内	—	—	—	●	●	・マッチングコンシェルジュとして来場者へ案内を行う者は、産業の構造や技術・製品等に詳しい者を複数人配置するとともに、当日までに出展者について熟知させること。 ・マッチングコンシェルジュについてホームページ等で積極的に来場者へ周知し、認知度と利用率を高めマッチング機能が効果的に活用されるよう工夫すること。
アンケートコーナー	・開催期間中に来場者及び来場者に対してアンケート調査を実施	—	—	—	●	●	・イベントもたらした効果や評価等が集計できるアンケート内容とすること。 ・タブレット端末等を用いて回答ができるようにすること。 ・アンケートの回収率を上げるための施策を行うこと。